



2018年2月6日

各位

会社名 堺化学工業株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 矢部正昭  
 (コード 4078 東証 第一部)  
 問合せ先 経営戦略本部経営企画部長 矢倉敏行  
 (TEL. 072-223-4111)

### 中期経営計画の数値目標修正に関するお知らせ

当社は、2016年5月12日に公表しました中期経営計画『共創2018』（2016～2018年度）の最終年度の数値目標を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせします。

#### 記

#### 1. 修正の内容

単位：億円

	2019年3月期数値目標		増減額	2017年3月期実績 (ご参考)
	修正前	修正後		
売上高	1,000	900	▲100	839
営業利益	60	54	▲6	45

#### 2. 修正の理由

当社グループは、上記中期経営計画で掲げた目標達成に向けた各種施策に取り組み、2018年3月期第3四半期連結累計期間までの実績は、電子材料や樹脂添加剤、化粧品材料などが計画以上に好調に推移したことにより、前年同期比で売上高、営業利益ともに増収増益となりました。

しかし、堺商事株式会社の「中期経営計画の修正に関するお知らせ」（2018年2月2日発表）のように、売上高、営業利益ともに数値目標との乖離が予想される事業もあるため、当該中期経営計画について見直しを行った結果、下方修正することといたしました。その主な要因は下記の3点です。

- ①衛生材料において輸出商材が海外顧客の生産体制再構築等の影響を受けて伸び悩んだこと、産業資材において復興事業が次期フェーズへ移行したことにより取扱商材の需要が減少したこと
- ②医薬品原薬・中間体において、主力製品の販売数量減と原価上昇により収益が大きく減少していることに加え、期待していた新規製品の生産量が当初計画より伸びていないこと
- ③事業を売却したこと（松岡メディテック株式会社、ラインファルト工業株式会社）

なお、中期経営計画で掲げている事業戦略については引き続き推進するとともに、高付加価値品の拡販や資産のスリム化など、ROE 5%以上の収益力を目指し、グループ一丸となって業績および企業価値の向上に取り組んでまいります。

※本資料における数値目標等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

以上